

【教員氏名】

有川 康二
研究室:聖アンデレ館 6階 624号室
メールアドレス:karikawa@andrew.ac.jp

【授業形態】

講義

【講義・演習概要】

消化の法則とメカニズムを理解するために胃腸という臓器(食物(情報)を分解、吸収する消化システム)を調べます。免疫の法則とメカニズムを理解するために血液やリンパ系細胞等の免疫システム(情報を守る器官)を調べます。この授業では、ヒト自然言語の情報処理の法則とメカニズムを理解するためにヒト脳という臓器(情報を処理するシステム)を調べます。といっても、脳を解剖したり(簡単にどこでもできません)、1台何億円もするMRIを使って脳を調べるわけではありません。実際、解剖やCTでは言語システムで働く文法の詳しい法則や仕組みは全然分かりません。私達各々が自分の母語(韓国語、中国語、日本語など)を使って、つまり、各々が自分の脳の働きを徹底的に観察して、実験(思考実験)を行い、言語現象の論理的な説明をしていきます。母なる自然の創造したヒト脳(1300gのタンパク質の塊)という情報処理システムで働く法則とメカニズムの説明を行います。紙と鉛筆があればできます。

【学習目標】

人間の脳の言語システムは、母なる自然が創った複雑な情報処理システムです。言語システムの意味と構造の情報処理の法則とメカニズムを調べます。例えば、「太郎は毎日料理と掃除をする」とか「John cooks and cleans everyday」はOK、「太郎は毎日料理をすると掃除をする」は変。「John knows Mary」はOK、「太郎は花子を知る」は変。「象は鼻が長い」の主語は?「花子が太郎が好きなこと」では主語は二個?「あ、雨だ!」では主語はない?「昨日は寒かった」はOK、「It colded yesterday」は変。「もうご飯食べた?」と聞かれて、「うん、食べた」はOK、「いや、まだ食べなかった」は変。「猫は金魚を食べた」「猫が金魚を食べた」「猫が金魚は食べた」「金魚は猫が食べた」「金魚が猫に食べられた」「金魚を猫に食べられた」はどう違う?「は」「が」「を」の意味はあるのか、ないのか?「猫を金魚を食べた」は変だが、このような変な例は、なぜ、変なのか?頭の中ではどんな言語情報の計算が行われているのか?このような問題を考えながら、母なる自然の創造したヒト脳の自然言語情報処理システムの法則とメカニズムを炙り出していきます。

【講義計画】

第1回:イントロ。ヒト脳の自然言語システムの法則とメカニズムを調べるには、どうしたらいいのか。ヒト脳の文に対する容認性反応(OKか、変か、どの程度、変か)を調べることは、私たち一人一人が自分の脳を使って行う実験だ。

第2回:日本語学習者のミスから日本語の法則を探る(1)

第3回:日本語学習者のミスから日本語の法則を探る(2)

第4回:品詞分類テスト(言語情報検出のトマス試験紙)(1)

第5回:品詞分類テスト(2)

第6回:品詞分類テスト(3)

第7回:主語とは何か? («は」「へが」が主語という定義は間違い)(1)

第8回:主語とは何か?(2)

第9回:主語とは何か?(3)

第10回:活用とは何か?(国語で習った活用表は矛盾だらけ)(1)

第11回:活用とは何か?(2)

第12回:活用とは何か?(3)

第13回:二種類の「た」(「もう食べた?」「いや、まだ食べなかった。」が変なわけ)(1)

第14回:二種類の「た」(2)

第15回:二種類の「た」(3)

第16回:格助詞の「格」とは何か?(言語情報処理におけるウィルスチェックのメカニズム)(1)

第17回:「格」とは何か?(2)

第18回:「格」とは何か?(3)

第19回:「格」とは何か?(4)

第20回:言語システムの自己組織化(「食べれる」のような「ら」抜き言葉はちゃんと法則に従っているし、計算/伝達効率もよい。むしろ、「ら」入りの「食べられる」のほうが法則を無視しており、計算/伝達効率も悪い。)(1)

第21回:言語システムの自己組織化(2)

第22回:言語システムの自己組織化(3)

第23回:言語システムの自己組織化(4)

第24回:言語情報計算における経済性原理(言語システムで物理法則が働いている)(1)

第25回:言語情報計算における経済性原理(2)

第26回:言語情報計算における経済性原理(3)

第27回:言語情報計算における経済性原理(4)

第28回:復習とQ & A

第29回:復習とQ & A

第30回:復習とQ & A と試験

【成績評価の方法】

試験評価:100% レポート:0% 出席:0%

毎回の出席は前提です。筆記試験は、自筆ノートやプリントは持ち込み可です。丸暗記は不要です。何故そういう風に考えるのかというロジックに集中してください。毎回、配付する質問コメント用紙(出席カードではありません)にいい質問やいいコメントをした人は、ボーナス点として加算されます。

【使用テキスト】

なし

【参考文献】

寺村秀夫(1982)『日本語のシンタクスと意味I』くろしお出版
寺村秀夫(1984)『日本語のシンタクスと意味II』くろしお出版
宮本陽一(2009)『生成文法の展開―「移動現象」を通して』大阪大学出版会

【準備学習の指示(事前学習 60 時間、事後学習 60 時間)】

前にやったことを順次理解していかないと、だんだん、珍糞漢糞(ちんぷんかんぷん)になります。予習、復習をしてください。

【その他備考(担当教員用)】

プリント類は授業中に配布します。

【備考(管理者用)】